

理想科学工業株式会社

本社 / 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル

[お問い合わせ先] 環境活動推進部

Tel. 03-5441-6778 Fax. 03-5441-6629

E-mail: info@riso.co.jp URL: http://www.riso.co.jp/

Sustainability Report  
環境経営報告書

2018



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。  
本冊子は、環境への影響に配慮したライソインキとFSC®認証紙を使用しています。







# 利便性の向上と環境負荷の低減を両立する製品・サービスを創出します

平素は当社事業にご理解とご支援を賜りありがとうございます。

「環境経営報告書2018」をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

理想科学は、「美しい健全な環境を次世代に引き継ぐために地球的規模での環境保全に貢献する」ことを「理想環境憲章」に掲げ、環境負荷の低減に向けた活動を推進しています。

当社がメーカーとして、製品の開発・生産・販売活動を進めていく過程で、そしてお客様が当社の製品をご使用いただく過程でなんらかの地球資源が消費され、またさまざまな廃棄物が生まれています。これらの事業活動が地球環境に及ぼす影響を認識し、利便性の向上と環境負荷の低減を両立できるような製品やサービスを創出し、お客様に提供することがわれわれの責務であると考えています。

当社では、開発段階からハードウェア（プリンター）とサプライ（インク）の環境負荷低減に取り組み、プリンターシステムとしての省資源化等の環境配慮設計を推進しています。

デジタル印刷機「リソグラフ」では、オフィス用プリンターとして世界初となる米ぬか油を使用したライスインクを開発しました。また、高速カラープリンター「オルフィス」では、高速プリンターでは困難とされていた空气中に放散されるTVOC（総揮発性有機化合物）を大幅に低減し、安全で快適なオフィス環境の実現に配慮しました。TVOC放散基準、エネルギー効率など厳しい、エコマーク基準をクリアした成果が認められ、公益財団法人日本環境協会が主催する「エコマークアワード2016」において、「オルフィスFWシリーズ」が「プロダクト・オブ・ザ・イヤー」を受賞することができました。

本報告書は、当社の環境への取り組みやお客様をはじめとするステークホルダーの皆様との社会的なかわり、そして健全な企業活動の礎であるコンプライアンスやコーポレートガバナンスについて説明しています。ぜひご一読いただければ幸いです。

2018年7月  
代表取締役社長

羽山 明

## CONTENTS

ごあいさつ	1	Focus 1	世界に広がるRISO製品— 教育現場の多様なニーズに応えています。	3	環境マネジメント	9	社会とのかかわり	13	海外での取り組み	16	マネジメント	17	理想科学について	19
		Focus 2	忙しい先生の負担を軽減しながら 学習効果を高める製品とサービス	5	環境への取り組み	11								
		Focus 3	高速印刷と優れた環境性能の両立を実現する 高速カラープリンター「オルフィス」	7										
													編集方針	21
													第三者審査報告書	22



# 世界に広がるRISO製品— 教育現場の多様なニーズに 応えています。

主に学校市場で活躍する「リソグラフ」は、1980年に誕生。それまでは、謄写版印刷機（ガリ版）や輪転機で先生方がインクで手を汚しながら教材を印刷していました。  
手を汚さず、コピー機のような使い勝手で印刷できる画期的な「リソグラフ」は日本中の学校に広まっていきました。現在、国内では多くの小中学校をはじめ、高校や大学でもご採用いただいています。「未来を担う子供たちのために、リソグラフを世界の学校教育現場で役立ててほしい」—  
創業者・羽山 昇の思いを受け、1986年に本格的な海外展開を開始。現在では180以上の国や地域の教育機関、官公庁、企業、コミュニティなどでご活用いただいています。



スカーギル幼児学校（イギリス・レインハム）

コストを抑えたフルカラー印刷で子どもたちの理解促進をサポート



想像力とやる気の育成に定評のある幼児学校



子どもたちの知識習得にフルカラー印刷が役立っている



「オルフィス」でコストを抑えたフルカラー印刷

## Europe



サマービル高校（アメリカ・マサチューセッツ州）

デザインを学ぶ学生たちが信頼する印刷品質を実現



就職に直結した多彩なカリキュラムが揃う4年制の公立高校



デザインから印刷までを学ぶカリキュラムでは、カラーで製本が可能な「オルフィス」が活躍



「オルフィス」を使った出版物の制作

## Americas



カカティア高校（インド・ハイデラバード）

多種・多様な試験問題の印刷にかかる労力と時間を大幅 カット



ハイレベルな教育で多数の生徒数を誇る私立高校



毎週行われる進級試験の膨大な印刷時間が、「リソグラフ」の導入によって短縮



消費電力が少なく、薄紙にも高速印刷できる「リソグラフ」

## Asia



マルフラナ小学校（南アフリカ・ヨハネスブルグ）

スピードと安定した印刷品質で日々の教材や保護者向け案内の印刷に活躍



1957年に設立された公立小学校



教材準備にかかる時間とコストを低減



スピードと安定した印刷品質の「リソグラフ」が活躍

## Africa

理想科学は  
世界の児童・生徒たちの学びを  
サポートします。

高速カラープリンター  
**ORPHIS**  
シリーズ



デジタル印刷機  
**RISOGRAPH**  
シリーズ



Japan 日本での活用事例は次ページ



# 忙しい先生の負担を軽減しながら 学習効果を高める製品とサービス

理想科学は、学びの現場で子どもたちの成長のために活躍している先生方のニーズを踏まえて製品を開発してきました。

## リソグラフに搭載された新機能



### ポイントがひと目でわかり理解が進む カラスキャナーで 高精度な2色分版 MFシリーズ

「リソグラフMF」はカラスキャナーを搭載し、カラーの紙原稿から自動的に分版できるので、ポイントを強調した学習効果の高い教材を簡単に作成できます。

〈P.13 コラム記事参照〉



色でポイントが目飛び込む

### 印刷時間を大幅に短縮 業界最速\*190枚/分の 印刷能力 SFシリーズ

「リソグラフSF939G/939」は毎分最高190枚の高速プリント。教材、試験問題、保護者への連絡など大量プリントの作業時間を短縮できます。

※2017年9月販売のオフィス用デジタル印刷機において業界最速(当社調べ)。

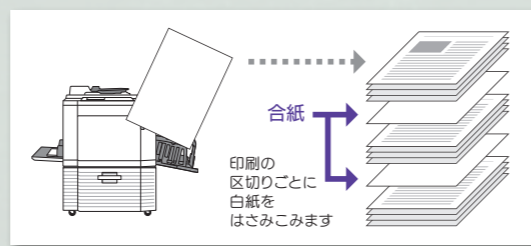
### テスト問題などの機密性が高まる 紙メモリー プリント MF/SFシリーズ

パソコンで作成した原稿を、デジタルパターンに変換した「紙メモリー原稿」として出力。「リソグラフMF、SFシリーズ」で読み込むまで原稿内容が判別できず、テスト問題などの機密性が高まります。



### 学年やクラスごとの仕分け作業を効率化 合紙仕分け MF/SFシリーズ

給紙台にセットされている用紙を合紙として利用する機能を標準機能として搭載。プリント中の用紙の間に白紙をはさむことができるので、多枚数・多セットの印刷を頻繁に行う学校で、仕分け作業が効率化できます。



## 新学習指導要領実施に先駆け、 「よみとき新聞ワークシート」を提供

2020年度から実施される、小学校の新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニング)の実現に向け、新聞の活用が記されています。理想科学では当社製プリンターをお使いの学校の先生を対象に、学習効果の高い教材を先生に負担をかけずに準備していただくため、朝日学生新聞社と提携して「朝日小学生新聞」の記事と専用の学習書式を組み合わせた教材を作成し、毎週1回、無料でメール配信しています。

- ダウンロード・印刷で教材が完成
- 鮮度の高いニュースを扱える
- 短時間で学習できる
- 毎週1回無料配信



朝日小学生新聞の「ニュースあれこれ」コーナーからピックアップ

SWiH記入欄  
感想・意見欄

小学校高学年対象 A4PDF教材  
15~20分程度で記入



### 新聞教材で言語能力を伸ばし 新聞を読む習慣をつける

- 国語・社会・総合学習の授業や朝学習・宿題に
- 記事を通じた対話で、伝えたり聞く力を養えます
- 壁掲示やファイリングで、学習の記録を残せます
- 記事について調べ学習を行い、興味を深めます

### 活用された先生の感想

- 新聞やニュースについて身近に感じる児童が多くなった。(神奈川県 公立小学校5年生担任)
- 活用開始当初はキーワードも感想もほとんど書けなかったが、徐々にかけるようになった。(千葉県 公立小学校5年生担任)
- 県内一斉の学力診断テストの国語の作文において、資料を読んで見出しを記述する設問で、クラス全員が正しく書けた。(茨城県 公立小学校4年生担任)

ご登録方法 <https://www.riso.co.jp/shinbun/>

よみとき新聞ワークシート 理想科学 検索



## 出張授業で環境学習に協力

(その他の事例はP.15を参照)

〈小学校〉

環境学習イベントの出張授業  
「ライスインクで名刺づくり」



2017年6月埼玉県越谷市立大袋東小学校の環境学習イベント「エコフェスティバル」で出張授業

〈中学校〉

環境教育ワークショップ  
「印刷の昔と今を学ぶ」



2017年11月川崎市立柁形中学校の環境教育ワークショップでガリ版印刷と「リソグラフ」印刷で新聞づくり

〈高校〉

環境シンポジウム  
「身近なエコ」



2018年2月神奈川県立神奈川総合高校の環境シンポジウムで、インク定着時に熱を使わない「リソグラフ」の省エネ性能を体験



# 高速印刷と優れた環境性能の両立を実現する高速カラープリンター「オルフィス」

理想科学はプリンター本体とインクの研究開発により、製品性能と環境性能の両立を実現しました。世界最速のプリントスピードを誇りながらも、優れたカラープリントの経済性と環境性能を兼ね備えた高速カラープリンター「オルフィス」はオフィスのプリント作業に効率化をもたらしています。

ORPHIS GD

世界最速  
160  
枚/分<sup>※1</sup>



ORPHIS FW

120  
枚/分<sup>※2</sup>



※1 オルフィスGD9630/GD9631の場合。A4普通紙片面横送り、標準設定連続プリント、GDフェイスダウン排紙トレイ使用時。2018年3月現在販売の枚数（カット紙）オフィス用カラープリンターにおいて世界最速（当社調べ）。

※2 A4普通紙片面横送り、標準設定連続プリント、FWフェイスダウン排紙トレイ使用時。

## 高速プリンターには厳しいとされたVOC放散量の基準値をクリア

VOC（揮発性有機化合物）はさまざまな製品から放散されており、世界各国で規制が強化されています。この規制はプリント時の所定時間あたりに放散するVOC発生量を一定以下に抑えることが求められるため、短時間に大量出力する高速プリンターにとって非常に高いハードルでした。「オルフィス」は、「本体+インク」のプリントシステムについて、徹底した研究と対策の積み重ねによりVOCの放散量を低減し、厳しい基準値をクリアしました。

## 世界各国の環境ラベルを取得

世界中のオフィスに快適で安全なプリント環境をお届けするために。

「オルフィス」は「本体+インク」のプリントシステムにより、VOC放散量の低減とともにライフサイクルにおける環境負荷低減や省エネ性能を実現し、世界各国の厳しい基準の環境ラベルを多数取得しています。



エコマーク



ブルーエンジェル\*



エネルギースター



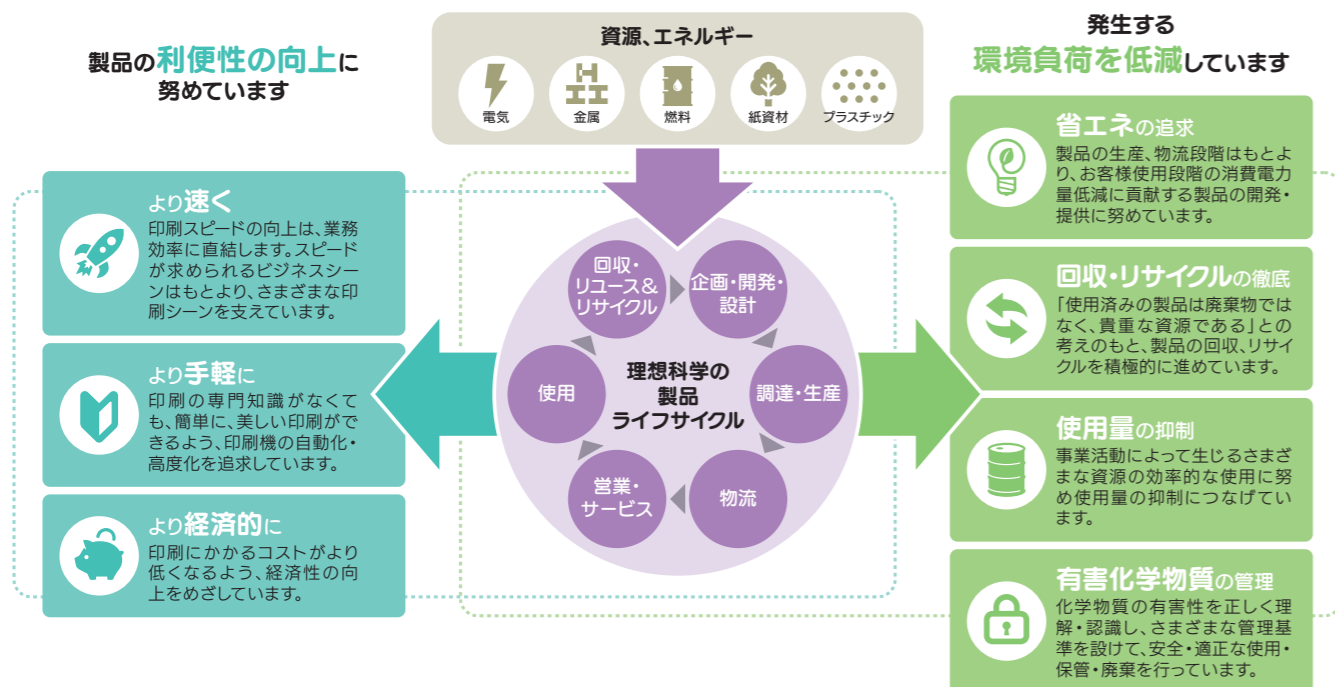
EPEAT®

\*取得機種：ComColor FW5230/5231



## 環境への取り組み姿勢

製品の「利便性向上」と「環境負荷低減」の両立を追求しています。



## 2020年度 全社環境取り組みの数値目標の進捗

企業の成長と温暖化対策の両立をめざす産業界を挙げての取り組みである「電機・電子業界 低炭素社会実行計画」を踏まえ、2020年度「全社環境取り組みの数値目標」の達成に向けて単年度ごとに数値目標を設定し、環境負荷低減活動の進捗を管理しています。

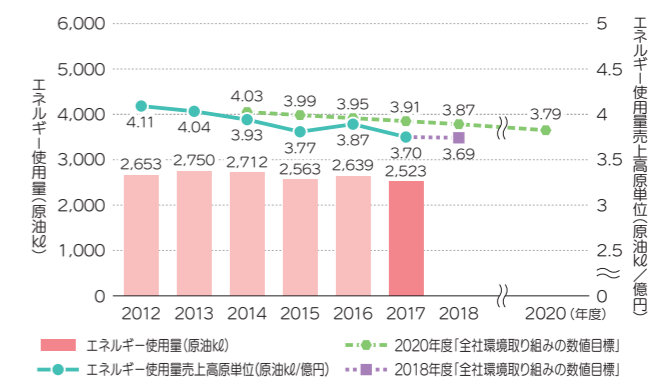
### ◆ エネルギー使用量(原油換算)の削減

#### 国内全体で

>> 2020年度においてエネルギー使用量単体売上高原単位を3.79原油kℓ/億円以下にする

(2014年度から2020年度までのエネルギー原単位改善率を年平均1%と定める。達成の判断は、基準年度(2012年度)比で2020年度に7.73%以上改善する)

全社(国内)エネルギー使用量および売上高原単位の推移



集計範囲: 理想科学単体国内全事業所のエネルギー使用量(委託物流量、社有車燃料使用量は除く)。売上高は単体売上高

## 理想科学の環境方針

環境への取り組み姿勢を明確に示した「理想環境憲章」ならびに「環境行動指針」を制定し、理想科学は、全社を挙げて環境保全活動を推進しています。

### 環境憲章

理想科学工業株式会社は、優れた製品の開発を通して社会に貢献することを基本理念とし、加えて地球社会の一員であることを深く認識し、美しい健全な環境を次世代に引き継ぐために地球的規模での環境保全に貢献するように努めます。

### 環境行動指針

#### 1. 環境に配慮した製品の開発

製品の開発・設計の段階から生産、流通、使用、リサイクル、廃棄などの各段階を考慮し、トータルでの環境負荷を低減するよう方針を策定し、実行する。

#### 2. 省資源、省エネルギー

事業活動によって生じる環境への影響を調査、検討し、環境負荷を低減するよう、省資源、省エネルギーに努める。

#### 3. 地域の環境保全

国、地方自治体などの環境規制等を遵守することにとどまらず、事故等の緊急事態に備えて汚染の可能性を検討し、

予防する。

#### 4. グローバルな視野での対応

海外事業活動および製品輸出に際しては、現地の環境に与える影響に配慮し、現地社会の要請に応えられるよう努める。

#### 5. 継続的な改善

環境管理の組織、制度を整備し、環境目的・環境目標を設定して、継続的な改善活動を実施する。

#### 6. 環境教育と情報公開

環境について全従業員が見識を深めることができるよう、当環境憲章および行動指針を基に適切な教育や広報活動をおこなうと同時に、環境活動状況を積極的に一般公開し、社会との連携により一層の環境負荷の低減に努める。

平成10年8月28日制定

平成19年4月1日改定

代表取締役社長 羽山 明

### ◆ CO<sub>2</sub>排出量の削減

#### 国内全体で

>> 2020年度においてCO<sub>2</sub>排出量単体売上高原単位を12.10t-CO<sub>2</sub>/億円以下にする

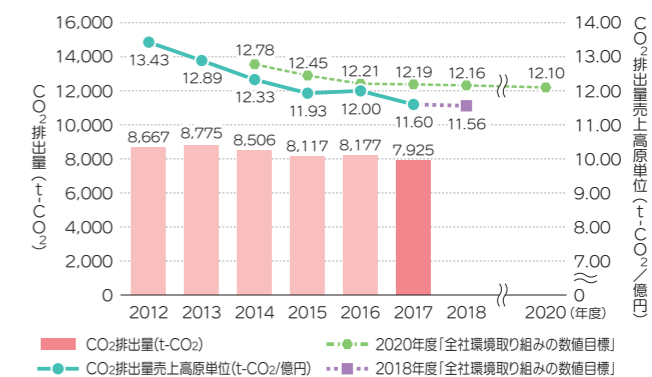
(エネルギー使用量単体売上高原単位の3.79原油kℓ/億円をCO<sub>2</sub>排出量単体売上高原単位に換算した数値に、物流と社有車のCO<sub>2</sub>排出量を含めた値)

#### 国内生産事業所全体で

>> 2020年度においてCO<sub>2</sub>排出量総製造原価原単位を11.50t-CO<sub>2</sub>/億円以下にする

(エネルギー使用量単体売上高原単位の3.79原油kℓ/億円をCO<sub>2</sub>排出量総製造原価原単位に換算した数値)

全社(国内)CO<sub>2</sub>排出量および売上高原単位の推移



集計範囲: 国内全事業所のエネルギー使用量、社有車の燃料使用量、物流部所管の製品・サービスの物流委託量とそれに伴うCO<sub>2</sub>排出量。売上高は単体売上高

### 2017年度実績 (詳細はデータブックを参照:図表1)

2017年度も省電力に重点をおいた取り組みを継続しました。空調機や照明をエネルギー効率の高い設備へ更新するなど積極的な投資を行い効果をあげました。2016年度と比較するとエネルギー使用量単体売上高原単位で4%、CO<sub>2</sub>排出量単体売上高原単位で3%改善しました。2017年度のエネルギー使用量単体売上高原単位およびCO<sub>2</sub>排出量単体売上高原単位の数値目標は達成しました。今後は適宜、PDCAを繰り返し、上方修正できるよう環境負荷の低減に向けて活動していきます。

開発・生産拠点で

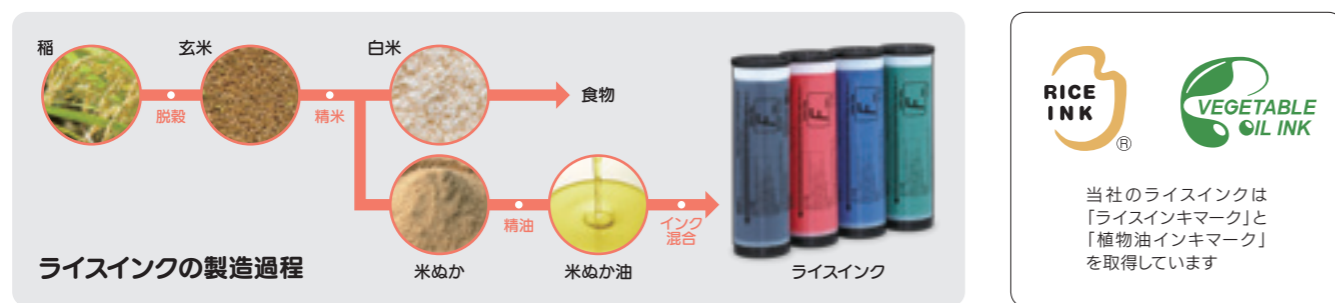
国産米ぬか油を使用したライスインクをカラー全22色に拡大

当社は、デジタル印刷機で使用するインクについても環境負荷の低減に取り組んでいます。米ぬかから抽出される米ぬか油に着目し、オフィス用プリンターとしては世界初となる品質安定性の高い「ライスインク」を開発しました。

国産の米ぬかを使用することにより、原料を輸入に頼るソイインクに比べて、原料輸送時のCO<sub>2</sub>排出量を約87%低減(2016年当社調べ)しました。

また、廃棄物である米ぬかを有効活用することで廃棄物の削減に貢献。非食糧である米ぬか(米の副産物)を原料としているため、食糧不足の問題に配慮したインクの原料確保につなげています。

発売当初は黒色のみを提供していましたが、2017年にカラー全22色に拡大。さらにお客様からのオーダーに合わせて制作するオーダーカラーにも対応し、お客様の環境保護活動に、さらにお役立ていただけるようになりました。



調達・物流で

環境規制に対応 chemSHERPA説明会を開催

当社では部材・部品を納入いただくサプライヤー様に対して、含有化学物質情報の提供を要件としています。2016年度から、chemSHERPA<sup>\*1</sup>が運用開始されたことに伴い、JAMP<sup>\*2</sup>が推奨する情報伝達シートから含有化学物質調査の様式を切り替えることとしました。2017年9月に国内調達取引先の担当者約200名に対して、説明会を開催しました。



説明会の様子

\*1 製品に含まれる化学物質を効率的に開示・伝達するため、経済産業省が開発した共通スキーム  
\*2 アーティクルマネジメント推進協議会

インクボトルやインクカートリッジを再生したリサイクルパレットを導入

2017年度には回収した使用済みインクボトルやインクカートリッジを再生樹脂にして成形したリサイクルパレットを筑波工場に導入し、活用しています。



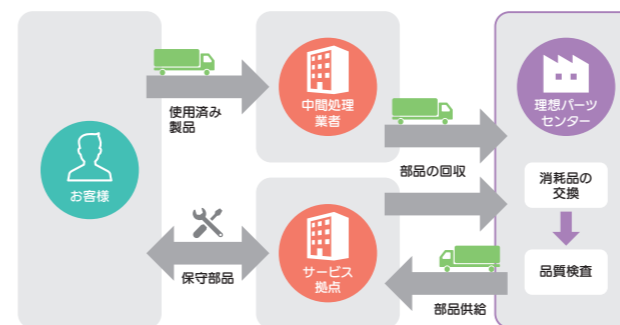
筑波工場に導入したリサイクルパレット

営業サービス活動で

使用済み製品・部品のリユースパーツ化を拡大

使用済みの製品・部品は可能な限り再利用を行っています。部品の一部はリユースパーツとして再利用するため回収され「理想パーツセンター」で消耗部品を交換し、品質検査を経て再度市場で利用されています。2017年度はリユースパーツの品目を拡大するとともに、その利用促進に積極的に取り組みました。

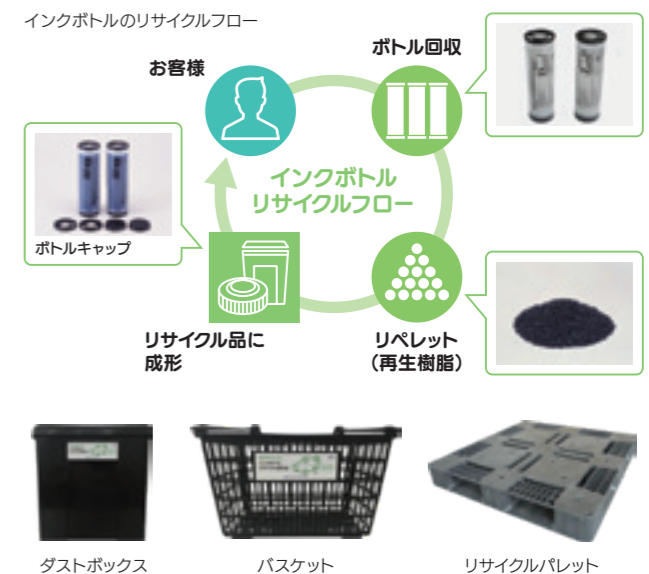
(詳細はデータブックを参照:図表6、7)



部品のリユースフロー

使用済みインクボトルを回収し、リサイクル

消耗品であるインクボトルの回収・再資源化を積極的に進めています。回収した使用済みインクボトルは粉碎し再生樹脂としてリペレットに加工した後、さまざまなプラスチック製品に成形し、製品の一部として利用されるほか、販促品や運搬用パレットなどで再利用しています。



事業所で

ライトダウンキャンペーンに参加

当社は、環境省が地球温暖化防止の一環として毎年夏に日本全国で実施している「CO<sub>2</sub>削減/ライトダウンキャンペーン」に賛同し、参加しています。2017年度も夏至の6月21日およびクールアース・デーの7月7日、午後8時から10時までの2時間にわたり、筑波事業所と宇部事業所で一斉消灯を実施しました。



ライトダウンキャンペーンポスター

クールビズを実施

省エネによる温暖化対策として、電機・電子関係の業界団体が定めた行動指針に則り、毎年夏には、冷房温度を28℃とするとともに軽装での執務を奨励するクールビズを実施しています。

また、当社を訪問されるお取引先にも軽装での来社をお願いするとともに、告知・啓発用のポスターを作成し、社員一人ひとりの参加意識を高めています。



告知・啓発用ポスター



お客様の満足のために

技術コンテストを通して  
CEの技術力・サポート力を向上

当社では、修理や保守点検に迅速に対応し、より良い印刷環境を提案するカスタマーエンジニア(CE)の専門知識・技術力・顧客対応力の向上を目的に「RISO TECHNICAL CHAMPIONSHIP」を毎年開催しています。2018年1月の第15回全国大会ではのべ1,650名の参加者の中から地区予選を勝ち抜いた22名が出場し、筆記・機械のトラブルを解決する実技・スピーチの各試験に挑み、技術を競い合いました。

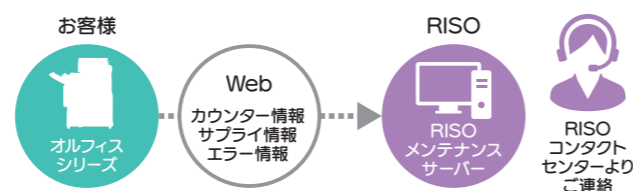
当社はCEのスキルアップに継続的に取り組み、メンテナンス体制のさらなる強化を通じて、お客様との信頼関係を深め、お客様のビジネスの発展に貢献していきます。



実技試験の様子

機器の状態を遠隔から見守り、  
トラブルにも速やかに対応

お客様が使用する「オルフィス」のコンディションを、インターネットを経由して、当社のメンテナンス用サーバーに送信する「RISOリモートエージェント」を通じて、より質の高いメンテナンスを実現しています。また、「オルフィス」からのエラー情報を受けて、RISOコンタクトセンターから電話連絡させていただくことで、速やかにトラブルに対応する「リモートメンテナンスコールサービス」も提供しています。



「RISOリモートエージェント」「リモートメンテナンスコールサービス」の概要

働きがいのある職場環境をめざして

両立支援制度を整備し  
ワークライフバランスを推進

社員一人ひとりの充実が組織の活性につながるという考えのもと、出産や育児、介護等で勤務時間や勤務内容の変更が必要になった場合でも、仕事と生活の両立ができるよう「育児休業」や「介護休暇」など各種制度を整備し、女性・男性社員ともに安心して仕事ができる環境づくりに努めています。

当社は2011年に子育てサポート企業としての認定を受け、次世代育成支援企業認定マーク「くるみん」を取得して以降、育児休業の取得や有給休暇取得推進のための意識啓発など行動計画を着実に実施。その取り組みが評価され、2013年度、2015年度と継続して更新取得し、2017年度も認定の申請手続きを行いました。

2017年度の育児休業制度利用者は42名(うち男性4名)で延べ2,337日の取得となりました。



仕事と育児の両立を支援する  
「復職支援セミナー」

育児休業制度を利用し復職を予定する社員を対象に、先輩社員の体験談やアドバイスを通じて復職への不安を払拭してもらうことを目的とした、復職支援セミナーを毎年開催しています。

2017年度は復職予定の4名が参加しました。「育児中の先輩社員の話を聞くことができ、復職に対する不安が解消された」など仕事復帰へ前向きな感想が寄せられました。



復職支援セミナーの様子

COLUMN 紙原稿からの2色プリントを簡単に

2017年10月に発売した「リソグラフMFシリーズ」は、カラーの紙原稿からの2色分版機能を強化。カラーキャナー搭載により、原稿の色を判別しての精度の高い分版が可能になりました。

カラーの紙原稿を読み込み、5種類の色分版方法から、最適な方法を選択。大型カラー液晶パネル上で仕上がりが「プレビュー表示」でわかりやすく確認でき、従来よりも手軽に2色印刷が行えます。

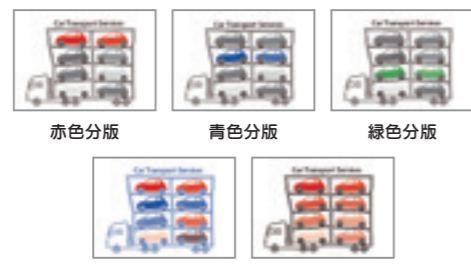


MFシリーズ

多彩な分版機能



紙原稿



カラー液晶画面を採用し、製版前に印刷イメージを確認できるプレビュー表示。

COLUMN 女性活躍推進への取り組み

「女性活躍推進法に基づく行動計画」では「女性社員の平均勤続年数を2021年4月1日時点で15年以上とする」という目標を掲げ、女性の活躍促進に向け取り組みを進めています。

2017年度は5月と10月に、女性社員を対象としたエンカレッジ研修が行われ20名が参加しました。研修ではグループワークを通じ、自身の強みや弱みを理解したうえで、他者を巻き込みリーダーシップ発揮するプロジェクトを自ら企画。それらの企画はそれぞれの職場で実行され10月の研修では上司に向けてプロジェクトの成果発表を行いました。



エンカレッジ研修の様子

● 女性活躍推進法に基づく行動計画

計画期間	平成28年4月1日～平成33年4月1日
目標	女性社員の平均勤続年数を2021年4月1日時点で15年以上とする
取組内容	〈平成28年4月～〉 女性社員向けのキャリア研修を実施する 女性社員の上司へのマネジメント研修を実施する 女性管理職による横断的個別キャリア相談支援を行う 〈平成29年4月～〉 一般職から総合職へのキャリア転換促進支援研修を実施する



地域社会の一員として

インターンシップを実施

大学、高等専門学校をインターンシップとして受け入れています。2017年9月に、つくば市の理想開発センターで、ものづくり企業の職場体験を提供しました。装置制作を通してメカトロニクスの楽しさを学んだ学生からは「自由な発想でのものづくりに、やりがいを感じた」との感想が寄せられました。



理想開発センターで装置制作を学ぶインターンの学生たち

中学校の企業訪問に協力

2018年1月と2月に、生徒の職業学習や進路学習を目的とした中学2年生を対象とする校外学習の企業訪問に協力し2校を受け入れました。会社説明や、製品紹介をした後、本社に訪問した生徒からの職業や労働、企業について質問に答えました。



製品紹介



質疑応答

全国高校模擬国連に協力

2017年8月の「第1回全国高校教育模擬国連大会」、11月の「第11回全日本高校模擬国連大会」に協力しました。「オルフィス」と「リソグラフ」で大量の書類を印刷し、大会運営をサポートしました。



第11回全日本高校模擬国連大会

地域に根差した社会貢献活動を展開

箱根駅伝の号外印刷に「オルフィス」が活躍

2018年1月、第94回箱根駅伝(東京箱根間往復大学駅伝競走)において、レース結果を速報する号外の印刷に、理想科学の高速プリンター「オルフィス」が活用されました。大会を共催する読売新聞社と協力し、現地で記事を編集し、クルマに搭載された「オルフィス」で即座に大量印刷。往路・復路それぞれのゴール付近で結果速報を待ち望む多くの方々に配布しました。



ゴール付近で配布された号外

義援金の寄付を通じた地域貢献

2017年7月の九州北部で発生した豪雨による被災者の支援と被災地の復興のため、社会福祉法人福岡県共同募金会と大分県に総額100万円の義援金を寄付しました。

献血に協力

当社は毎年、地域の献血活動に協力しています。2017年5月に筑波工場で開催された献血には多くの社員が協力しました。



筑波工場での献血

PRINT17 に出展

2017年9月、アメリカ・イリノイ州シカゴで開催された世界4大印刷機材展の一つ「PRINT17」に、「オルフィスGDシリーズ」、「リソグラフMEシリーズ」を中心に出展しました。また、産業用途向けのコンセプト機であるカット紙のフルカラー高速インクジェットプリンター「RISO T2」も参考出展。コンパクトなサイズでありながら生産性が高いと評価されました。



PRINT17の様子



RISO T2

FESPA2017 SHANGHAI TEX 2017 に出展

2017年5月にドイツ・ハンブルグにて開催されたヨーロッパ最大規模のスクリーン印刷・デジタル印刷業界の見本市「FESPA2017」と2017年11月に上海にて開催されたテキスタイルの国際展示「SHANGHAI TEX 2017」に、「GOCCOPRO QS2536」を出展しました。中国政府の環境規制の強化への対応を迫られる中国のテキスタイル産業界から、印刷クオリティの高さとともに、その環境性能が高く評価されました。



FESPA2017の様子

SHANGHAI TEX 2017の様子

植樹活動に参加

2017年5月、理想工業(深圳)有限公司の工場がある深圳地区の光明新区で実施された植樹活動に、工場社員とその家族10名が参加し、環境保護と緑化に協力しました。



植樹活動の参加者

「GOCCOPRO QS2536」世界各国で販売開始

2017年9月、当社は世界各国で、シルクスクリーン製版機「GOCCOPRO<sup>®</sup> QS2536」の販売を開始しました。

新しく開発された穿孔密度1200dpiのライン型サーマルヘッドで高精度な製版が可能となり、布、プラスチック、ガラス、金属など用途に合わせたRISOデジタルスクリーンマスターを組み合わせることで、さまざまな素材に高精細な印刷をすることができます。

また大判標準枠サイズに対応し、スクリーン印刷業界で広く使われているTシャツ用自動印刷機への取り付けが可能になり、アメリカを中心に縫製物の印刷市場での拡大が期待されています。

※「GOCCOPROシリーズ」は水や薬品を使わない「RISOドライ感熱製版システム」を採用し、乳剤方式のボジ出力・露光・乾燥工程が不要のため電力消費量を低減し、洗浄も不要のため排水も生じない環境に配慮した製品です。



GOCCOPRO QS2536



コーポレートガバナンス／コンプライアンス／リスクマネジメント

コーポレートガバナンス

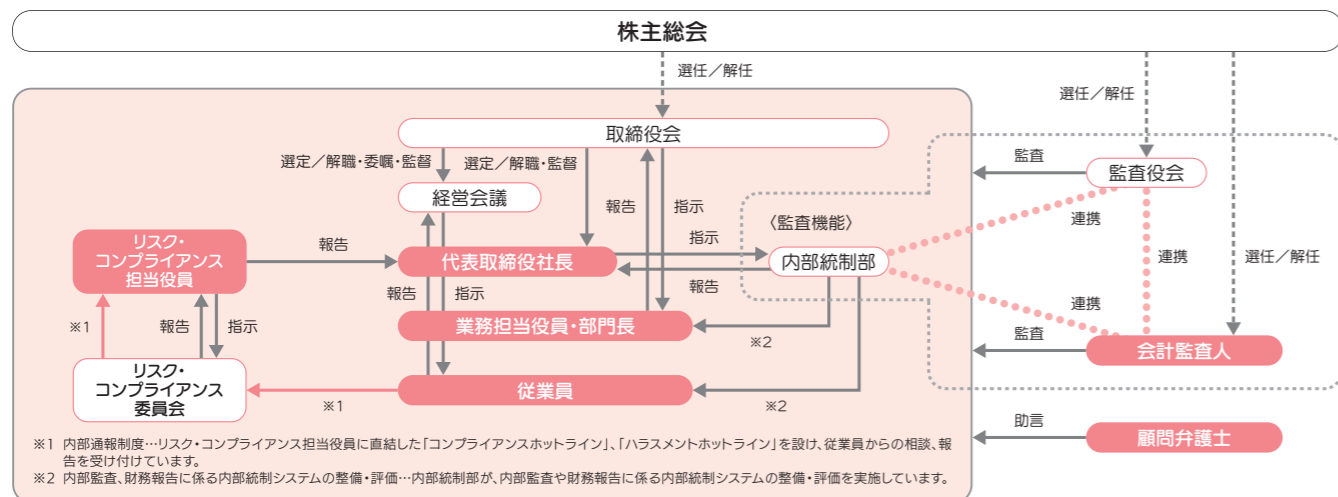
当社は、監査役による監視・監督のもと、取締役会が業務執行についての重要な意思決定を行うガバナンス体制を採用しています。また、一般株主と利益相反を生じることのない立場(独立役員)の社外取締役を迎え、健全で透明性の高い体制を整備しています。

内部統制システムの整備・評価の実施部門として内部統制部を設置し、「内部監査規程」に基づき、工場、営業拠点および子会社等の会計・業務監査を行っています。

コンプライアンス体制

当社は、コンプライアンスを企業経営の基本とし、法令や社内規程を遵守するとともに、社会倫理や道徳を尊重し、社会の一員であることを自覚した事業活動を行うよう努めています。「リスク・コンプライアンス委員会」を設置し、コンプライアンス教育やリスクマネジメントの継続的な改善・強化に取り組んでいます。また、同委員会は通報者のプライバシーが守られるように配慮しながら、従業員からの相談・報告に対応する内部通報制度の運営など、コンプライアンスやハラスメント対策の実行性を担う役割も果たしています。

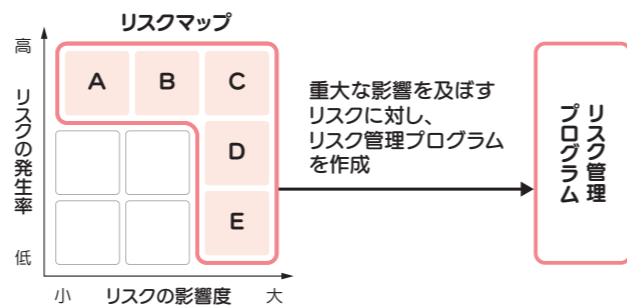
コーポレートガバナンス体制図



リスクマネジメント体制

当社は、会社法の定めに基づき「損失の危険の管理に関する規程」を制定しています。重要な業務は、執行に伴うリスク分析や対策の検討をしたうえで、経営会議や取締役会で審議・決定します。また、「リスク・コンプライアンス委員会」では、当社グループを取り巻くさまざまなリスクが発生した場合の影響度などを分析・評価して、「リスクマップ」を作成しています。グループ経営に重大な影響を与えるリスクについては、個別にリスク管理プログラムを策定し実行することで、リスクの低減・回避に努め、統合的なリスク管理と体制整備を推進しています。

リスク管理の概要



コンプライアンス教育を継続的に実施

当社は、役員および全社員が、コンプライアンスを深く理解し、実践できるよう、継続的な啓発活動およびコンプライアンス教育を実施しています。

毎年、全社員を対象にして、コンプライアンスに関わるさまざまなモデルケースを取り上げたeラーニングを実施しています。各ケースの問題点について解説し、適切な行動がとれるように工夫しています。また、毎月「RISOコンプライアンス便り」を発行し、イラストを交えたわかりやすい事例で、コンプライアンスを身近なこととして考えるきっかけを提供しています。



「RISOコンプライアンス便り」

「安否確認」の全社一斉訓練を実施

2017年8月、防災の日を前に常勤役員、国内社員およびパート社員を対象に「安否確認」の全社一斉訓練を実施しました。仮定した地震災害の発生後、2時間以内で対象者97%からの安否報告を確認しました。訓練の対応と振り返りを行うことで、迅速で適切な対応がとれるよう備えています。

法規制の遵守状況

当社に適用となる環境関連法規制等の2017年度の調査の結果、重大な環境関連法規制等の違反はありませんでした。行政機関から罰金や行政指導は受けておらず、また地域社会より環境に関わる苦情も受けていません。

COLUMN 「環境コミュニケーション大賞」環境報告書部門 優良賞を受賞

当社発行の「環境経営報告書2017」が、環境省と一般財団法人地球・人間環境フォーラムが主催する「第21回環境コミュニケーション大賞」環境報告書部門の優良賞を受賞しました。第18回につづき、2度目の受賞となります。

選考委員会からは「開発、製造、調達、物流、営業サービス活動などの事業活動全般を通じて環境負荷の全体像を明らかにするとともに、事業活動ごとに豊富な環境データ等を時系列で詳細に提供している」との講評をいただきました。

今回の受賞を励みに、これからも環境への取り組みと情報開示に積極的に取り組んでまいります。





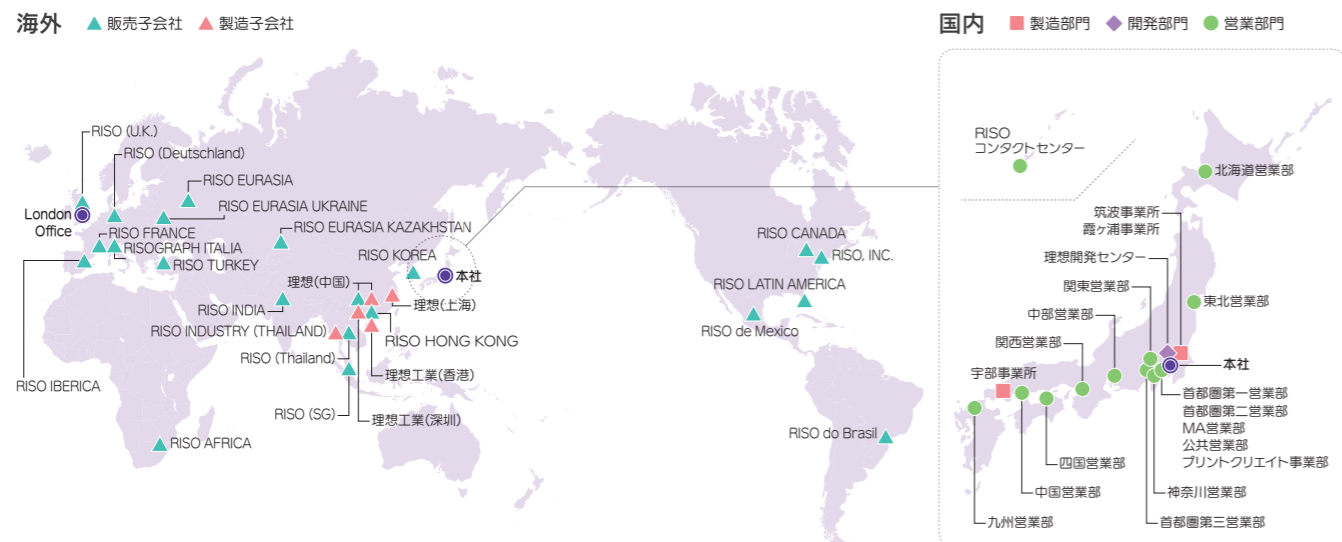
## 独自のプリントソリューションを世界の皆様へ

理想科学は、生産・販売のグローバルネットワークを構築。  
世界180以上の国や地域で、高性能インクジェット技術・デジタル孔版印刷技術を通じて、  
お客様に満足いただける製品・サービスを追求しています。

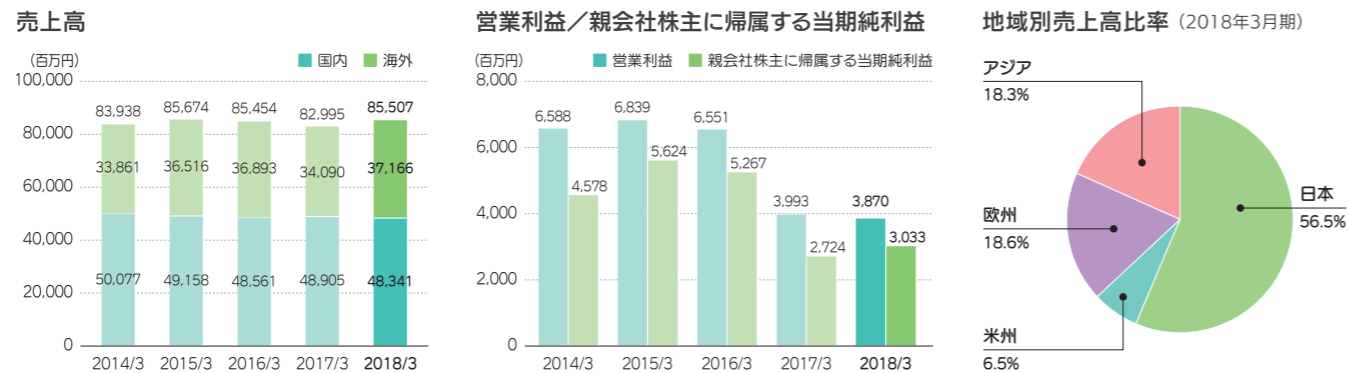
### 会社概要 (2018年3月31日現在)

社名	理想科学工業株式会社 (RISO KAGAKU CORPORATION)	資本金	14,114,985,384円
創業	1946年(昭和21年)9月2日	従業員数	3,638名(グループ全体)
会社設立	1955年(昭和30年)1月25日	連結子会社	28社(国内2社、海外26社)
本社	東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル		

### 事業拠点 (2018年7月1日現在)



### 業績ハイライト(連結)



### 理想科学環境活動のあゆみ

- 1992 環境委員会発足  
インクボトル回収、サーマルリサイクルを開始
- 1997 インクボトル再生樹脂を活用した製品の生産開始
- 1999 「リソグラフ」のリサイクルを開始
- 2000 筑波事業所ISO14001認証を取得
- 2001 宇部事業所ISO14001認証を取得  
大豆油インク「RISO SOYインク」を発売
- 2004 「環境報告書」を発行
- 2005 「リソグラフ」でエコマークを取得
- 2006 国内事業所の全社ISO14001統合認証を取得
- 2007 「リソグラフ」が国際エネルギースタープログラムに適合
- 2008 「オルフィス」がエコマークを取得、国際エネルギースタープログラムに適合  
「環境経営報告書」英語版を発行
- 2012 「オルフィス」梱包材のリターナブル輸送を開始
- 2014 「オルフィスEXシリーズ」が平成25年度省エネ大賞を受賞
- 2015 「リソグラフ」でEPEAT登録
- 2016 米ぬか油を使った孔版用インク「ライスインク」を発売  
「オルフィス」がブルーエンジェル認定を取得
- 2017 「オルフィスFWシリーズ」がエコマークアワード2016 プロダクト・オブ・ザ・イヤーを受賞

### 主要製品



#### 高速カラープリンター 「オルフィス」

多枚数のカラードキュメントを高速かつ低ランニングコストでプリントできる、ビジネス用途のインクジェットプリンターです。



#### デジタル印刷機 「リソグラフ」

孔版印刷の原理に理想科学独自の技術を融合させた高速デジタル印刷機です。1原稿あたりの出力枚数が増えるほど、プリント単価が下がります。



#### デジタルスクリーン製版機 「ゴッコプロ」

水や薬品を使用しない「RISOドライ感熱製版システム」のデジタルスクリーン製版機。プリンター感覚で、手軽に高解像度・高精度な製版ができます。



理想科学は、2004年に「環境報告書」を発行し、以降、当社の環境保全活動についてご報告してまいりました。2006年からはタイトルを「環境経営報告書」と変更し、環境や社会とのかかわりが経営にどのように反映されているかを、わかりやすくお伝えしています。本冊子版では2017年度に行った活動成果を中心に簡潔にまとめることで、わかりやすい報告をめざしました。

オフィス用プリンターとしては世界初となる国産米ぬかを使用したインクの発売にあわせて、本冊子版の印刷にもライスインクを使用し、環境に配慮しています。

本冊子版では掲載できなかった情報および過去から掲載している情報については、Webサイト (<http://www.riso.co.jp/>) で紹介しています。当社の事業活動をより詳細に報告するための「データブック」もWebサイトに掲載しています。

● 報告対象範囲

国内については、理想科学工業株式会社および理想沖縄株式会社の全事業所ならびに全営業拠点を報告の対象範囲としています。海外については、理想科学グループの生産拠点を環境負荷データの対象範囲とし、非生産事業所の電力、燃料(社有車燃料を含む)、水の使用量についても一部対象範囲としています。なお、データ集計範囲が異なる場合がありますので、各データに記載の集計範囲をご覧ください。

● 冊子とWebサイト

理想科学は、環境経営、事業活動に関するより詳しい情報をWebサイトに掲載しています。

環境経営報告書

[http://www.riso.co.jp/eco\\_report/](http://www.riso.co.jp/eco_report/)



● 環境経営報告書 (本書)  
本冊子をPDFデータで掲載しています。

環境経営報告書 (データブック)

- 環境関連データ
- 環境会計
- 主要事業所の環境データ
- 社会関連データ
- 環境報告ガイドライン対照表

理想科学Webサイト

<http://www.riso.co.jp/>

製品情報のほか、理想科学からのお知らせなど最新情報を提供しています。



- 企業情報
  - ごあいさつ
  - 会社概要
  - マネジメント
  - 事業拠点一覧
  - あゆみ
  - 採用情報
  - 株主・投資家情報
- 環境への取り組み
  - 環境保全のための理想科学の基本方針
  - 環境保全に向けた取り組みと実績
  - 製品の環境対応
  - 環境経営報告書
- 社会とのかかわり
  - お客様とのかかわり
  - サプライヤーとのかかわり
  - 株主・投資家とのかかわり
  - 社員とのかかわり
  - 地域社会とのかかわり
  - 社員とのかかわり
  - 一般事業主行動計画
  - 経営体制

その他の情報開示・コミュニケーションツール



- 会社案内
- 株主通信
- コーポレートガバナンスに関する報告書
- 決算短信
- 有価証券報告書/内部統制報告書

広報誌「理想の詩」



コミュニケーションをテーマにさまざまな情報をお届けしています。

● 広報誌の購読について  
Webサイトの申し込みフォームまたはハガキで受け付けています。

理想科学は報告書の信頼性および客観性を高めるために、報告内容について第三者からご意見をいただき、そのご意見を報告書の制作に反映しています。本年度も昨年までと同様に、テュフ ラインランド ジャパン株式会社による第三者検証審査を受けました。今後も、報告内容の正確さ、わかりやすさを追求するとともに、開示情報の充実に努めていきます。

「理想科学 環境経営報告書 2018」第三者審査報告書



理想科学工業 株式会社  
代表取締役社長 羽山 明 殿

2018年7月18日  
テュフ ラインランド ジャパン 株式会社  
代表取締役社長 トビアス・シュヴァインフルター

1. 審査の範囲及び目的並びに対象、審査の手続き、結論

テュフラインランド ジャパン 株式会社(以下当審査機関という)は、理想科学工業 株式会社(以下、組織と言う)が作成した『理想科学 環境経営報告書 2018』及び『WEB掲載の環境データ』に関して、

- 環境報告及び環境パフォーマンス、環境会計に関する情報にて、算出、集計方法の合理性と数値の信頼性及び、記載内容の妥当性
- 環境報告にて、重要な情報が洩れなく開示されているか

について、独立した第三者機関の立場から審査を行いました。審査目的は、その結果を報告し結論を述べることです。

なお、審査基準として、環境省 環境報告ガイドライン及び環境報告書作成基準、GRIが発行するレポート、を参考としていますが、ガイドラインへの準拠性を認証するものではありません。

審査手続きを計画通りに実施し、審査の過程で要求した是正処置が適切に実施されることを約束された結果、当審査機関は、『理想科学 環境経営報告書2018』及び『WEB掲載の環境データ』が、一般に公正妥当と認められる環境報告書作成ガイドラインの一般的報告原則に照らして、正確に数値算出されていると結論致します。

2. 審査総評

昨年の第三者審査が対象とした「環境経営報告書2017」が、環境省と一般財団法人地球・人間環境フォーラムの共催による第21回環境コミュニケーション大賞の環境報告書部門において優良賞を2018年2月に受賞されました。選考委員会の講評では、「開発、製造、調達、営業サービス活動などの事業活動全般を通じて環境負荷の全体像を明らかにするとともに、事業活動ごとに豊富な環境データ等を時系列で詳細に提供している」とされ、誠実に環境経営情報を継続してきたことを評価されたものと考えます。今後は、社会的に開示が期待される新たなトピックスを採り入れつつ、より一層に環境経営情報を充実されることを期待します。

【環境マネジメント関連】

今回の報告書で、優れている点及び望まれる点の主なものを述べます。優れている点は今までに増して維持されることを、望まれる点は今後に向けてさらに継続的改善を期待しています。

〈優れている点〉

- 環境情報開示の基礎となるデータの集計プロセスが正確に運営され、完成度が高まっています。ご尽力を高く評価します。
- 2017年度の環境目標はすべて達成しています。
- 環境負荷は年々変動します。増減理由に関して、適宜丁寧に分析をされている姿勢は評価に値します。

〈望まれる点〉

- スコープ1(事業者自らの段階)からスコープ3(お客様の段階)へ視点を転換していくことが一層求められています。使い勝手の向上、インクの環境配慮充実などへよりスポットライトを当てるのが肝要でしょう。
- WEBで詳細なデータを図表1~29まで開示しています。経年変化を継続的に見守ってきた意義深い面もありますが、良いタイミングをとらえてより時宜を得たコンテンツへの差し替えも検討することが望まれます。

【社会、ユーザーとの接点に関する取り組み】

特集として、教育現場の多様なニーズに応える取り組み、純正インクを用いることで実現する製品性能と環境性能の両立、について触れています。重要な顧客である教育現場との接点を掘り下げ、製品性能だけでなく、教育現場におけるユーザービリティ(有効さ、効率、満足度)を向上させることを目指した取り組みを取り上げたことを評価します。また、純正インクに代表される消耗品のサプライ事業についてユーザービリティの視点で開示した姿勢も評価します。特に、米ぬか油を原料とするライスインクが黒1色から基本色全22色に拡大し、消耗品において選択肢が増えたことは喜ばしいことです。ユーザーが環境配慮を進める際の選択肢であり続けるためにも、環境に配慮した開発設計を理解しやすく開示することを継続してください。

【環境会計関連】

環境会計情報の集計プロセスを有効に維持し、環境経営の継続的な改善に有益な影響を与えていることを評価します。環境パフォーマンスと貨幣情報を対比する環境会計の原理を応用し、環境配慮の経営戦略を支える環境会計システムに継続的に改善されることを期待します。

以上

審査報告書全文は、Webサイト上に掲載しています。